

平成29年度 地域ケアプラザ事業計画書

1 施設名

横浜市野七里地域ケアプラザ

2 事業計画

今年度、地域ケアプラザの管理運営をどのようにおこなっていくのか、具体的に記載してください。

以下、地域ケアプラザ事業実施評価との共通部分（区と協議の上、策定して下さい。）

1 全事業共通

地域の現状と課題について

野七里地域ケアプラザの担当エリアは、栄区内の他ケアプラザと比べても若い世代の人口流入が少なく高齢化が進んでいるために、地域を支える担い手の世代交代が困難である事が大きな課題となりつつあります。

反面、健康への意識は高く、地域の福祉保健活動参加者が多い地域でもあります。

起伏の多い土地柄もその要因となっていると思われませんが、独居高齢者の孤立、有病高齢者世帯、孤独死、社会適応困難者、生活困窮者、精神疾患等について潜在しているケースが多いと認識されています。それらのケースの迅速な把握と支援には、地域のネットワークが欠かせない存在となっています。

多くの地域課題を抽出し、高齢者だけではなく、介護者、子育て世代、地域社会からの孤立や生活困窮等について、それぞれの関係機関や地域と情報共有を行い、担い手育成を含めた地域活動の充実が共通課題として認識される事が重要です。

今後も積極的に地域に出向き、ケアプラザの存在や役割の周知、地域課題の更なる把握、情報提供と情報共有を実践していきます。

これまでのケアプラザの取り組みを通して得た、地域、区役所、区社協等各種団体との顔の見える関係と地域活動を基に、地域の各関係機関や団体、町内会自治会とのネットワーク強化や連携と協働により、栄区セーフコミュニティと地域福祉保健計画の推進に取り組み、地域の誰もが安心して暮らし続ける事の出来る「安心安全の町づくり」の実現に地域と共に向き合っていきます。

(1)相談（高齢者・こども・障害者分野等の情報提供）

年齢や状況を問わず、相談者の問題解決のために、地域包括支援センター3 職種の専門性を活かしながら相談者と共に考えていきます。また、必要に応じて適切な機関と連携を図っていきます。区との連携も綿密に行い、地域住民に何かあればケアプラザに相談すれば安心と置いていただけるよう迅速に対応していきます。

(2) 各事業の連携

地域の実態把握【5-2】、ニーズに沿った事業展開、地域と共同した資源開発等について、生活支援コーディネーターと地域交流コーディネーターの特性を活かしながら連携し地域の充実した町作りの連携を図ります。野七里地域ケアプラザの職員誰もが職の相互理解をし、協力しながら各事業の専門性を発揮できるよう密な連携を図ります。

(3) 職員体制・育成、公正・中立性の確保

法人内の人事異動や退職等による欠員が出ないように、常勤職員を適切に配置した職員配置体制を維持します。

職員育成については、法人の年間研修計画による「法人理念」「基本方針・品質方針」「社会人・職業人としての心構え」「法令遵守」について全員受講し社会人として、また、社会福祉法人の職員としての感性や価値観・責任感を認識すると共に、社外研修の受講により専門知識と技術の習得や社会を知るための研修等を通し、資質向上スキルアップを目標に、職員一人ひとりが自己研鑽しやすい環境を整えます。公共機関の職員であることを常に意識し、公正・中立であることの重要性を確認する機会として、法令遵守・個人情報保護・人権擁護・ケアプラザ職員としての研修の受講を積極的に促すと共に、自主開催するなどし周知啓発に努めます。

(4) 地域福祉保健のネットワーク構築

担当2地区の地域福祉保健計画地区別計画の推進のため、区役所・区社会福祉協議会と連携協力するとともに、地域会議への積極的参加による顔の見える関係性の強化と、これまで培ってきた地域連携のネットワークの一層の強化を図ります。また、地域開催の行事や活動の場に地域包括支援センター3職種・地域活動交流・生活支援コーディネーター・所長が積極的に参加し、地域の方々との顔の見える関係づくりに努めます。

(5) 区行政との協働

定期的に区の保健師、ソーシャルワーカーと情報交換、情報共有を行いながら誰もが住み慣れた地域で長く生活できるよう連携・協働を図ります。また、相談内容によっては高齢障害支援課のみではなく、問題解決の為に区の様々な課とも連携・協働が図れるよう呼びかけをしていきます。

2 地域活動交流事業

(1) 自主企画事業

- ① 上郷地区センターと翠風荘と共催で、高齢者の健康づくり及び介護予防として、ポールウォーキングを行い、地域のなかでサークル化を図ります。【2-3】【4-1】【4-2】
- ② 地域に出て、地域の方に向けた認知症サポーター養成講座を開催。地域で、認知症のことを正しく理解してもらうことで、認知症になっても安心して暮らせるまちづくりに取り組んでいきます。【1-3】
- ③ パソコン、マージャン、趣味の講座を行い、高齢者の生きがいをづくりのきっかけとします。【2-2】
- ④ 犬の散歩をしながら地域の見守りを行う『わんわんパトロール隊員養成講座』を開催し、地域の見守りに活かしていけるよう支援していきます。【2-1】
- ⑤ 学校との連携を強化して、小中学生向けの事業『小学生保育士体験』『小学生の趣味講座』『夏の夕べに親子でバトミントン』を行い、地域の子どもの育成と、子ども達の地域とのつながりづくりのきっかけとします。【3-2】
- ⑥ 障害のある子どもとその家族に、地域とのつながりを作ることを目的に、障害児余暇支援事業を行います。【3-2】【6-1】
- ⑦ 未就学児の子育て支援親子サロンを開催し親子の地域とのつながりをつくるきっかけとします。また、子育て支援ボランティアの育成支援を行っていきます。【3-1】
- ⑧ 近隣サロンや地区社協と地区センター、保育園、コミュニティーハウス、老人福祉センターとの共催事業を実施します。【1-4】
- ⑨ 地域の交流の場作りのため『のしちりほっこりカフェ』の開催に伴い、ボランティアの育成を行います。【2-2】
- ⑩ 学校、防災拠点、地域サロンなどの要請に応じた事業の実施します。
- ⑪ 多世代交流、地域のさまざまな団体の交流を目的に、『ほのぼのコンサート』を行い、貸室利用団体の福祉保健活動の情報発信の場とします。【1-4】
- ⑫ 『のしちり文化祭』を開催し、地域の方向けに貸室利用団体の活動紹介を行います。また、地域の活動団体や、障害者施設等の交流の場とします。【1-4】
- ⑬ 坂の多い地域のため、ケアプラザで行う事業にくるのが難しい地区のために、『出張歌声喫茶』を行い、閉じこもり防止、仲間づくりを支援します。【2-2】
- ⑭ 認知症予防「野七里スリーA はずなの会」を支援し、地域の認知症予防、認知症の方のための居場所づくりに取り組みます。【1-3】【2-2】

(2) 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

- ・ 29年度からの、貸し館利用マニュアルの改訂内容を周知を徹底し、地域の方々が、福祉保健活動に取り組やすい、貸し館運営を図っていきます。
- ・ ケアプラザが地域の福祉保健活動の拠点となるべく、貸室利用団体と協力体制を築いていきます。
- ・ 春の文化祭、ほのぼのコンサート等を開催し、団体同士の交流促進と地域の方々への活動の紹介を図り、ボランティア活動のきっかけづくりとしていきます。
- ・ 土日、夜間の稼働率を上げるため、ケアプラザ広報誌で空時間を周知していきます。

(3) ボランティアの育成及びコーディネート

- ・『野七里ほっこりカフェ』や『げんきっこひろば』『イージー体操』など、ケアプラザ自主事業にてボランティアの育成支援をしていきます。
- ・ホームページやブログの更新に伴い、ボランティアの活動紹介を行い、ボランティアの募集育成を行っていきます。
- ・生活支援コーディネーターと協力して、生活支援ボランティア『野七里助っ人隊』の活動支援、新隊員の募集育成を行っていきます。
- ・ボランティア研修交流会を行い、ボランティア同士の情報交換と、活動紹介を行います。また、今後の活動に活かせるような研修を行っていきます。
- ・『よこはまシニアボランティアポイント登録会』を、栄区 6 館ケアプラザにて持ち回りでを行い、よこはまシニアボランティアポイントの周知及び啓発と、制度を活かしたボランティアにつなげていきます。

(4) 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

- ・貸室利用団体の福祉保健活動記録の提出を促進し、年 2 回以上の福祉保健活動を支援していきます。
- ・ケアプラザ広報誌や、ホームページ、ブログにて、福祉保健活動の情報発信を行います。
- ・『のしちり文化祭』や『ほのぼのコンサート』を行い、福祉保健活動団体の紹介、交流の場とします。
- ・地域サロンや、地域会議などにて、福祉保健活動の情報収集や紹介を行っていきます。

3 生活支援体制整備事業

(1) 事業実施体制

- ・地域福祉保健計画の推進母体と協働して、地域の課題を共有し、課題解決に向けて、一緒に取組みます。
- ・介護予防や健康づくりに取組みやすい場所や機会が身近な地域に増えるよう、地域の施設、団体とのネットワークを広げ、連携協働して地域資源の発掘や広がりを取組みます。
- ・ケアプラザに遠い地域の方にも健康づくりや介護予防、生きがいくくり等に参加しやすい機会と場で提供することが課題となっています。包括、地域交流と連携して、地域の方々が気軽に身近な場で様々な取組みができるよう、機会と場の提供を支援していきます。
- ・単町ごとのアセスメントを行い、今後必要となってくる、生活支援ボランティアの立ち上げを地域の方と一緒に検討していきます。

(2) 地域アセスメント（ニーズ・資源の把握・分析）

- ・各自治会、町内会ごとにヒヤリングを行い、地域の課題を抽出し、取組みにつなげていきます。
- ・必要と思われる自治会では、マップの作成を行い、地域資源と課題の把握、共有につなげます。
- ・地域サロンに引き続き積極的に参加し、参加者や活動者の意見から、ふだんの困りごとや、地域ニーズを把握、分析します。
- ・シニアクラブ、民児協、保健活動推進員など、各種団体へのヒヤリングやアンケートを実施します。
- ・地域福祉保健計画の推進母体である上郷東地域見守りネットワーク、上郷西地区つながるプラン連絡会に参加し、地域の課題やニーズの把握を行います。
- ・包括と協働で、郵便局、銀行、コンビニエンスストア、スーパーなどにヒヤリングを行い、地域の課題の把握と資源の把握に努めます。

(3) 連携・協議の場

- ・地域福祉保健計画の推進に参画し、推進母体の会議にて、地域の課題を共有し、課題解決に向けて一緒に取組みます。
- ・包括と連携し、地域ケア会議にて、地域の課題を地域の方達と共有し、その課題解決に向けて、協議の場を開催します。
- ・包括、地域交流と連携し、5職種会議を定期的実施し、地域の現状把握や連携した取組みを検討していきます。

(4) より広域の地域課題の解決に向けた取組

- ・28年度に栄区6館のケアプラザ共催で、「ちょこっとボランティア交流会」を実施し、そこから把握した課題の内、「担い手不足」の解決に向けた取組として、担い手育成のための講座を開催する。
- ・栄区6館のケアプラザで、引き続き地域資源リストの更新、整備を行い、情報を共有していきます。
- ・エリアが隣接するケアプラザと連携し、課題を共有し、エリアを越えた課題に対して、一緒に取組んでいきます。
- ・エリア内に「横浜市介護予防・生活支援サービス補助事業サービスB」への申請する団体があるため、申請へ向けた支援を行っていく。また、その後も活動の支援を行っていく。

4 地域包括支援センター運営事業

(1) 総合相談支援業務

① 地域におけるネットワークの構築

- 地域資源を改めて確認しながら既存の団体同士を繋ぎ、既にネットワーク形成されている所はより太いパイプで繋がることが出来るよう情報交換会等を行っていきます。上郷西地区ボランティアとケアマネジャーの集い（1月）【1-2】・みんなで大勉強会（8月）【1-2】
- 地域ネットワークづくりの為、商店や郵便局などにも声をかけ地域ケア会議への参加を促し、認知症の勉強会を開催するなどネットワークを拡大していきます。
- 地域のニーズに合わせたネットワークの構築を考える為まずは民生委員からのヒアリングを行って行きます。

②実態把握

- 地域ごとの相談傾向を分析し、各地域のニーズや不足している資源の把握に努めます。
- 民生委員と連携し、一人暮らし高齢者の実態把握と見守りや支援の方法を検討していきます。
- エリアの現状を把握する為、地域を歩いての実態把握を行い気になる家屋や高齢がいれば民生委員と連携を図ります。また、民生委員との個人面談会を開催し1人暮らし高齢者の情報交換や各担当地域の実態把握に努めます。(6月～随時)【5-2】

③総合相談支援

- 相談件数が増加傾向にありますが、迅速に対応できるように所内で情報共有を行い、3職種が連携して相談援助を行っていきます。
- 対象者への支援が滞りなく行えるように、相談表の管理及び支援経過の確認を定期的に行っていきます。
- 対応が困難なケースについても区高齢・障害支援課や関係機関と連携し、適時ケースカンファレンス等を行いながら支援の方法を検討していきます。

(2) 権利擁護業務

①成年後見制度の活用促進・消費者被害の防止

- 行政書士の個別相談会を毎月開催し、必要に応じて成年後見制度の説明を行います。
- ケアプラザ窓口で成年後見制度に関するパンフレットや消費者被害の注意を呼びかけるパンフレットを配架し周知を行うと共に、被害に遭っている方の情報が入ったら横浜市消費生活総合センター等と連携しながら個別支援を行っていきます。
- 相談援助の過程で、必要に応じて成年後見の制度説明や申立支援を行います。

②高齢者虐待への対応

- 「横浜市高齢者虐待防止対応マニュアル」に基づき、高齢・障害支援課と連携を取りながら迅速に対応していきます。
- 相談を受けた職員がどの様に対応すべきかを明確にし所内で共有します。
- 栄区社福士分科会の共催で、介護サービス事業所向けに虐待の発見と対応についての出張研修を行います。【2-1】

③認知症

- 「認知症の人と家族の会」に講師を依頼し年に3回介護者のつどいを開催します。【2-1】
- 栄区6館共催にて若年認知症の人と家族の支援を目的とした「笑風の会」を年に3回実施します。【2-2】
- 関係機関と連携を取りながら認知症の方の個別支援を充実させていきます。
- 市民向け講座「杉山先生の認知症の理解と援助」講座を栄区医師会医療相談室と共催します。(1月開催)【2-2】
- 「認知症の人と家族の気持ちを考える」講座を開催し地域での見守りの意識を強化していきます。(2月開催)【2-1】

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

①地域住民、関係機関等との連携推進支援

- インフォーマルサービス、フォーマルサービスが共に1つの事を学ぶ時間を設け意見交換や情報共有が出来る場を設けていきます。
上郷西地区ボランティアとケアマネジャーの集い(2月)【1-2】
- 地域ケア会議を通し、地域で起きている事に対しての地域住民の考えと各機関の考えの相違などを各機関が地域ニーズの把握した上で、どのように連携して行くかを協議検討していく場を重ねていきます。
- 市民向け講座の企画の中に関係機関の参加も促し顔の見える関係を支援していきます。

②医療・介護の連携推進支援

- ケアマネジャーの勉強会に連携する事の多い往診医や医療相談室の相談員を招き連携強化の為、勉強会を開催します。その事によりスムーズな連携を図れるよう講師と打ち合わせをしながら併せて職の理解をお互いに深めます。
- 協力医と連携を図り、エリアを担当するケアマネジャーや介護保険事業所が気軽に相談に来られるよう協力医の来所日を周知していきます。
- 病院医療相談室等からの退院支援の相談があった際には、退院前カンファレンスの同席や担当するケアマネジャーの相談に乗りながら高齢者が在宅で安心して生活できるように病院とケアマネジャーの連携の支援を行います。往診時のケアマネ同行等も行っています。

③ケアマネジャー支援

- 民生委員や地域住民との連携を図りながら地域でこれからもケアマネジャーが専門性を発揮し、担当している高齢者を中心の目線に合わせた関わりが出来るよう、民生委員やサロン関係者との情報交換会をはじめ医療従事者との密な連携方法、疾病についての勉強会などスキルアップのお手伝いをしていきます。
- 専門的な知識だけではなく基本的な訪問時のマナーについて、お作法の勉強会を行い訪問時に失礼のないよう、ケアマネジャーが集い一緒に学んでいきます。ほぼ毎月開催予定のケアマネジャー勉強会で顔をあわせるケアマネジャー同士の横の連携も図れるようにしていきます。また、普段からケースについての関わりで悩んでいる事があれば包括支援センターも一緒に考えていくこと、困難ケースに関しては包括支援センターだけでなく区役所とも連携を図り、問題解決のお手伝いをしていきます。
 - ・みんなで毎月勉強会(概ね毎月1回)【1-2】
- 就労間もないケアマネジャーには、6包括共催で連携の重用性を学ぶ機会を設けつつも相談の出来る包括支援センターの説明も併せて行います。・新人ケアマネ研修(7月・11月各1回)【1-2】

(4) 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

- 多職種が集い情報交換、職の相互理解が得られネットワークの拡大が図れるよう様々な職種が集える勉強会や事例検討会を開催していきます。
- 病院、薬局等の医療機関との連携を密に行い、チームとして地域で多職種の連携が必要になった際にスムーズに対応できるよう日頃から情報交換を行っていきます。
- 地域ケア会議において様々な専門家と地域がその後も連携していけるよう調整役になりながら、課題抽出、地域力強化の為柔軟な形で実りある会議を開催して行きます。
- みんなで大勉強（8月）・協力薬局との情報交換会（2回/1年）【1-2】

(5) 介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

- 「今、出来ている事の継続」と「出来る力の再確認」を本人、家族と行いながら具体的なプランの作成、サービスの調整を行っていきます。
- フォーマル、インフォーマルの関わる全ての機関がチームとなり、ご本人のサポートが出来るよう調整します。
- 総合事業や、介護保険制度について最新の情報が提供できるよう積極的に研修等に参加して参ります。

(6) 一般介護予防事業

一般介護予防事業

地域の方々が安心して生活出来る事を目標に、介護予防活動の普及と啓発を行います。また介護予防に資する活動の支援と育成を行います。

○運動による介護予防

当ケアプラザの自主事業である「イージー体操」は虚弱であっても参加出来る体操です。週1回楽しく継続出来るように支援します。全地域対象に転倒予防と認知症予防二本立ての体操講座を2ヶ所に分けて通年実施します。

「元気作りステーション」に定期参加し、講座の案内や健康教育の支援を行います。

【2-2】【2-3】

- 当ケアプラザは交通の便があまり良くないため、高齢者の中には利用の難しい方も多くいらっしゃいます。地域のサロンやシニア会にはその様な方が参加されていますので、出張講座による介護予防の普及・啓発を行っていきます。【2-2】

- ・転倒予防講座
- ・認知症予防講座
- ・栄養改善講座
- ・口腔機能改善講座
- ・ヒートショックについて

- 認知症予防の会「野七里スリーA なずなの会」は地域の方々が中心となって会の運営を進めています。リーダーの育成を行い、スキルアップと新規参加者の発掘を目指します。交流との共催で実施します。【2-2】

- ケアプラザ内で自主化した園芸グループは、季節毎に野菜を栽培し、収穫後に調理実習を行います。栄養改善の健康教育の他、会が活発に活動を継続出来るように支援します。【2-2】
- 蜂蜜の栄養と効能を知っていただき、健康に役立てていただくための講座を行います。
- 冷えは万病の元とも言われながら、対策は自己流で行うしかない現状を打破して頂きたいとの思いから冷え症対策の講座を開催します。
- 男性限定の調理講座を上郷地区センターとの共催で行います。この講座が参加者の地域参加やケアプラザに関わってもらえる事等の切っ掛けとなることを目標にします。
- 通年で口腔相談日を設けます。高齢者だけでなく、幅広い年齢層に利用していただけるようにします。
- 干し野菜を使った調理講座を行います。連続して時短料理の講座も行います。干し野菜は干す事での栄養と味の変化、また保存食としての一面もあります。どちらの講座も世代交流の場となるようにします。
更に、独居高齢者や一人介護者を対象に、「人に作ってあげたい料理講座」を開催し、ボランティアで外に出るきっかけとなる様に働きかけをします。【4-3】
- 演芸高座を定期開催します。閉じこもりがちであったり、ケアプラザを知らなかったり、地域とあまり接点の無い人達にも気軽に来てもらいひと時の交流の場となるようにいたします。
- 医療講座は社会福祉士と協力して連続講座を行います。
「終末期」についてそれぞれの視点から講座を行います。介護予防事業としては自分の終末期をどう迎えたいかについての講座を行います。
また、多くの人達の悩みの一つである腰痛についての講座を行います。

その他

--

施設の適正な管理について

ア 施設の維持管理について

様々な方々にご利用いただく公共施設として、どなたにも常に安全で快適な施設環境を保持する為に施設設備の適切な維持管理に努めます。

- 1.建物・施設設備等については、法令に基づき外部専門業者による定期検査の実施に加え職員による毎日の環境整備による不具合の早期発見に努め、故障や事故を未然に防ぎます。また、不足の事態についても、緊急対応マニュアルに沿って対応し、施設利用者の安全確保に努めます。
- 2.施設を清潔に保ち、快適にご利用いただくために、専門業者による定期的な全館清掃・植栽管理・害虫駆除に加え職員による毎日の環境整備や日常清掃により、衛生的で快適な施設環境の維持に努めます。
また、施設の衛生管理については、感染症対策として手指消毒や嗽の徹底をはかるため、手指消毒用のアルコール及び使い捨て嗽用コップを各所に常設し、感染症予防に努めます。

イ 効率的な運営への取組について

指定管理者として、ケアプラザとして効果的に機能を発揮できるよう経費はもとより業務についても職員間や自治会町内会や地域団体との連携による効率化を図るなど、適正な運営に努めます。また、職員一人ひとりがコスト意識を持ち日々の努力として資源の有効活用・エネルギー利用の削減に取り組み、サービスの質を落とすことなく効率的運営に取り組みます。また、横浜市のゴミのルート回収に参加すると共に「ヨコハマ3R夢」に則し、ゴミの減量化・再生資源化にこれまで通り継続して取り組みます。

ウ 苦情受付体制について

「苦情受付担当者」「苦情解決責任者」「第三者委員」の配置により苦情受け体制を整えるとともに、施設内にご意見箱や苦情受付案内を掲示し、苦情申し立てがしやすい環境づくりに努めます。また、苦情に至らないご意見や寄せられた苦情については、職員間で情報共有し苦情の原因を分析し改善策を話し合う等、職員全員が苦情解決者の意識を持ち再発防止に努め、業務改善・サービス向上に努めます。

エ 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

「事故対応マニュアル及び緊急時対応マニュアル」に基づき、緊急時に迅速適正に対応できるよう、職員への対応手順周知を徹底します。

また、消防署及び地域参加の「消防訓練」や併設施設との合同開催となる「特別避難場所訓練」をそれぞれ年2回実施し、災害・緊急時の備えとします。

防犯対策として、警備会社による夜間機械警備と栄警察署地域安全課への協力依頼による地域交番の夜間巡回の実施で、夜間の防犯対策を講じています。また、日々の地域の防犯パトロール隊の巡回や職員による施設内巡回により、目視による防犯安全対策を講じます。

書類やパソコン等の貴重品は書庫内に設置してある施錠できるキャビネットに収納保管し、更に書庫の出入り口に施錠するなど二重の防犯対策をとり盗難紛失予防に努めます。

オ 事故防止への取組について

個人情報取扱・感染症リスク・施設設備等について、常に発生リスクを職員全員が安全管理の意識を持って、事故防止に努めます。
また、事故発生時は事故対応マニュアルに沿って応急救護措置をとり、法人及び関係各所へ速やかに報告すると共に報告の中から原因究明・課題分析し、対応改善策を検討し共有することで、再発防止につなげます。
「ヒヤリハット」を義務付け、情報共有すると共に原因分析し改善策を講じる事で、リスク回避に繋がります。

カ 個人情報保護の体制及び取組について

個人情報の取り扱いについては、横浜市の個人情報保護に関する条例及び法人の定める「個人情報保護に対する基本方針」に則り、個人情報漏洩事故の未然防止に努めます。また、個人情報は常時施錠できるキャビネットで管理し、施設外持ち出しは原則禁止とします。持ち出しが必要となる場合、紛失や漏洩に細心の注意を払い、管理者の許可を得た上で、持ち出し簿に記入し最小限度の携帯に止めます。
「個人情報保護の取組み」について施設内に掲示し、利用者への周知啓発を図ります。

キ 情報公開への取組について

「指定管理者情報公開標準規程」に則り、情報の公開を行います。また、年度の初めに全職員を対象に「個人情報保護」についての研修を実施し、個人情報取扱について周知徹底し管理体制を整えます。また、個人情報の郵送やFAX送信については、ダブルチェックを義務とするなど十分な管理体制を整えます。
ホームページや広報紙、また、運営協議会等において事業内容等を積極的に公開します。

ク 人権啓発への取組について

多様性や個性を重視し、それぞれの個性を認め合い連帯する共生社会づくりが求められています。それぞれの個性や存在を認め合い「人権尊重を自然に行動や態度としてあらわすことができる文化」の定着を目指し、日頃から人権を意識し業務に当たる事ができるよう職員全員に人権研修を実施します。また、様々な機会を捉え、だれもが持てる能力や個性を発揮し生き生きと健康に暮らせる地域づくりのための人権啓発に取り組めます。

ケ 環境等への配慮及び取組について

横浜市の推進する「ヨコハマ3R夢プラン」に継続して参加し、コピー用紙の裏面使用やゴミ分別の徹底などでゴミの少量化や資源化に積極的に取り組みます。
また、館利用者のみなさまのご理解をいただきながら、冷暖房の設定温度実施遵守・こまめな消灯・事務機器の未使用時に電源をOFFにするなど、節電への取り組みを継続します。
併せて、外出時はできるだけ燃焼エネルギーを使用しない自転車や徒歩、また、公共交通機関を利用するなどし、温暖化の低減にも取り組みます。

介護保険事業

● 指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業

《職員体制》

管理者 1 名

《目標》

- ①「出来ている事の継続」と「出来る力の再確認」を本人、家族と行いながら具体的なプランの作成、サービスの調整を行っていきます。
- ②フォーマル、インフォーマルの関わる全ての機関がチームとなり、ご本人のサポートが出来るよう調整します。
- ③総合事業や、介護保険制度について最新の情報が提供できるよう積極的に研修等に参加して参ります。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

-
-
-

《その他（特徴的な取組、PR等）》

《利用者目標》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
125	125	125	125	125	125
10月	11月	12月	1月	2月	3月
125	125	125	125	125	125

● 居宅介護支援事業

《職員体制》

管理者 1名（常勤）
介護支援専門員 2名（非常勤勤務）

《目標》

- ・ 可能な限り住み慣れた地域で自立した日常生活を継続できるよう、ご本人の意思を尊重しつつ、「重度化予防」「介護予防」の視点に立ちケアプランを作成します。
- ・ 地域包括支援センターと情報共有・連携し、地域の困難事例を積極的に受入れ支援します。
- ・ 必要なサービスが総合的に提供されるよう、各関係機関等と連絡調整し、中立公正を遵守しサービス計画書を作成します。
- ・ 介護保険のサービスのみではなく介護保険対象外のサービスについても情報を把握し、ご利用者の選択による多様なサービス提供に努めます。
- ・ 介護保険を十分に理解していただけるよう、常にわかりやすさを意識した説明に努めます。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

-
-
-

《その他（特徴的な取組、PR等）》

《利用者目標》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
80	80	80	80	80	80
10月	11月	12月	1月	2月	3月
80	80	80	80	80	80

● 通所介護・認知症対応型通所介護

《提供するサービス内容》

-
-
-

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

● 1割負担分

- (要介護1) 円
- (要介護2) 円
- (要介護3) 円
- (要介護4) 円
- (要介護5) 円

● 食費負担 円

-
-

※ その他、実費相当を徴収するものについては、各施設で項目を増やして記載をしてください。

《事業実施日数》 週 日

《提供時間》 : ~ : (半角で入力 例 9:00~15:00)

《職員体制》

《目標》

《その他（特徴的な取組、PR等）》

《利用者目標（延べ人数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
10月	11月	12月	1月	2月	3月

● 介護予防通所介護・第1号通所事業・介護予防認知症対応型通所介護

《提供するサービス内容》

-
-
-

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

- 1割負担分
 - （事業対象者） 円
 - （要支援1） 円
 - （要支援2） 円
- 食費負担 円

-
-

※ その他、実費相当を徴収するものについては、各施設で項目を増やして記載をしてください。

《事業実施日数》 週 日

《提供時間》 : ~ : （半角で入力 例 9:00~15:00）

《職員体制》

《目標》

《その他（特徴的な取組、PR等）》

《利用者目標（契約者数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
10月	11月	12月	1月	2月	3月

平成29年度 「横浜市野七里地域ケアプラザ」 収支予算書及び報告書（一般会計）

収入の部 (税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	17,004,977	0	17,004,977		17,004,977	横浜市より
利用料金収入	0		0		0	
自主事業（指定管理料充当の自主事業）収入	0		0		0	
自主事業収入	0	0	0	0	0	
雑入	0	0	0	0	0	
印刷代	0		0		0	
自動販売機手数料	0	0	0	0	0	
駐車場利用料金収入	0	0	0	0	0	
その他（施設使用料相当額）			0		0	第3期の指定管理施設のみ
その他（施設使用料相当額相当/法人負担分）	0	0	0	0	0	第3期の指定管理施設のみ
その他（法人負担分）						
収入合計	17,004,977	0	17,004,977	0	17,004,977	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	10,200,000	0	10,200,000	0	10,200,000	
本俸	7,206,755		7,206,755	0	7,206,755	
社会保険料	1,385,424		1,385,424	0	1,385,424	
手当計	1,579,852		1,579,852	0	1,579,852	
健康診断費	14,169		14,169	0	14,169	
勤労者福祉共済掛金	13,800		13,800	0	13,800	ソウェルクラブ
退職給付引当金繰入額	0		0	0	0	
その他	0		0	0	0	
事務費	771,429	0	771,429	0	771,429	
旅費	23,589		23,589	0	23,589	ガソリン代、駐車場代
消耗品費	180,000		180,000	0	180,000	事務用品等
会議賄い費	45,896		45,896	0	45,896	コーヒー、お茶葉
印刷製本費	50,000		50,000	0	50,000	コピー代等
通信費	130,034		130,034	0	130,034	電話、郵便、切手等
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
横浜市への支払分	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	
備品購入費	3,369		3,369	0	3,369	
図書購入費	40,000		40,000	0	40,000	
施設賠償責任保険	164,958		164,958	0	164,958	各種保険等
職員等研修費	1,760		1,760	0	1,760	研修交通費等
振込手数料	1,016		1,016	0	1,016	
リース料	68,688		68,688	0	68,688	AEDレンタル
手数料	9,119		9,119	0	9,119	はかり点検料等
地域協力費	53,000		53,000	0	53,000	祭礼金
その他	0		0	0	0	
事業費	1,070,572	0	1,070,572	0	1,070,572	
運営協議会経費	42,000		42,000	0	42,000	指定額
自主事業（指定管理料充当の自主事業）費	1,028,572		1,028,572	0	1,028,572	
自主事業費	0	0	0	0	0	
管理費	4,146,976	0	4,146,976	0	4,146,976	
建築物・建築設備点検	228,404		228,404	0	228,404	指定額
光熱水費	1,300,000	0	1,300,000	0	1,300,000	
電気料金	1,000,000		1,000,000		1,000,000	
ガス料金	100,000		100,000		100,000	
水道料金	200,000		200,000		200,000	
清掃費	600,000		600,000	0	600,000	
修繕費	474,000	0	474,000	0	474,000	指定額
機械警備費	300,000		300,000	0	300,000	
設備保全費	1,050,000	0	1,050,000	0	1,050,000	
空調衛生設備保守	200,000		200,000	0	200,000	
消防設備保守	100,000		100,000	0	100,000	
電気設備保守	100,000		100,000	0	100,000	
害虫駆除清掃保守	50,000		50,000	0	50,000	
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	600,000		600,000	0	600,000	
共益費	0		0	0	0	
その他	194,572		194,572	0	194,572	
公租公課	816,000	0	816,000	0	816,000	
事業所税	0		0		0	
消費税	816,000		816,000	0	816,000	
印紙税	0		0		0	
その他（ ）	0		0		0	
事務経費（計算根拠を説明欄に記載）	0	0	0	0	0	
本部分	0	0	0	0	0	
当該施設分	0	0	0	0	0	
二一ズ対応費	0		0		0	
支出合計	17,004,977	0	17,004,977	0	17,004,977	
差引	0	0	0	0	0	

平成29年度 「横浜市野七里地域ケアプラザ」 収支予算書及び報告書 (特別会計)

収入の部 (税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料 (包括)	18,950,402		18,950,402		18,950,402	横浜市より
指定管理料 (介護予防)	151,000		151,000		151,000	横浜市より
指定管理料 (生活支援)	5,789,000		5,789,000		5,789,000	横浜市より
利用料金収入	0		0		0	介護保険収入等充当分
自主事業 (指定管理料充当の自主事業) 収入	0		0		0	
自主事業収入	0	0	0	0	0	
雑入	0	0	0	0	0	
印刷代	0		0		0	
自動販売機手数料	0	0	0	0	0	
駐車場利用料金収入	0	0	0	0	0	
その他 ()	0		0		0	
その他 ()	0		0		0	
収入合計	24,890,402	0	24,890,402	0	24,890,402	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	21,180,000	0	21,180,000	0	21,180,000	
本俸	18,044,508		18,044,508		18,044,508	
社会保険料	1,456,477		1,456,477		1,456,477	
手当計	1,629,378		1,629,378		1,629,378	
健康診断費	28,637		28,637		28,637	
勤労者福祉共済掛金	21,000		21,000		21,000	ソウェルクラブ
退職給付引当金繰入額	0		0		0	
その他	0		0		0	
事務費	514,286	0	514,286	0	514,286	
旅費	40,000		40,000		40,000	ガソリン代、駐車場代
消耗品費	100,000		100,000		100,000	事務用品等
会議賄い費	10,000		10,000		10,000	コーヒー、お茶葉
印刷製本費	50,000		50,000		50,000	コピー代等
通信費	144,760		144,760		144,760	電話、郵便、切手等
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
横浜市への支払分	0		0		0	
その他	0		0		0	
備品購入費	5,000		5,000		5,000	
図書購入費	2,000		2,000		2,000	
施設賠償責任保険	90,000		90,000		90,000	各種保険等
職員等研修費	50,000		50,000		50,000	研修交通費等
振込手数料	648		648		648	
リース料	0		0		0	
手数料	3,878		3,878		3,878	
地域協力費	18,000		18,000		18,000	祭礼金
その他	0		0		0	
事業費	2,015,715	0	2,015,715	0	2,015,715	
協力医	630,000		630,000		630,000	指定額
介護予防事業	151,000		151,000		151,000	
生活支援体制整備事業費	309,000		309,000		309,000	
自主事業 (指定管理料充当の自主事業) 費	925,715		925,715		925,715	
自主事業費	0	0	0	0	0	
管理費	1,180,401	0	1,180,401	0	1,180,401	
建築物・建築設備点検	60,686		60,686		60,686	指定額
光熱水費	380,000	0	380,000	0	380,000	
電気料金	270,000		270,000		270,000	
ガス料金	40,000		40,000		40,000	
水道料金	70,000		70,000		70,000	
清掃費	170,000		170,000		170,000	
修繕費	126,000		126,000		126,000	指定額
機械警備費	100,000		100,000		100,000	
設備保全費	270,000	0	270,000	0	270,000	
空調衛生設備保守	50,000		50,000		50,000	
消防設備保守	30,000		30,000		30,000	
電気設備保守	30,000		30,000		30,000	
害虫駆除清掃保守	10,000		10,000		10,000	
駐車場設備保全費	0		0		0	
その他保全費	150,000		150,000		150,000	
共益費	0		0		0	
その他	73,715		73,715		73,715	
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税	0		0		0	
消費税	0		0		0	
印紙税	0		0		0	
その他 ()	0		0		0	
事務経費 (計算根拠を説明欄に記載)	0	0	0	0	0	
本部分	0	0	0	0	0	
当該施設分	0	0	0	0	0	
二一ズ対応費	0		0		0	
支出合計	24,890,402	0	24,890,402	0	24,890,402	
差引	0	0	0	0	0	

平成29年度 自主事業収支計画書

事業名	①募集対象	自主事業予算額					
	②募集人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	その他
イージー体操	①高齢者	384,000	24,000	360,000	384,000	0	0
	②15人/回						
	③500円						
3Aなずなの会	①地域住民	0	0	0	0	0	0
	②30人/回						
	③100円						
ぎゅっと詰まったはちみつの良い話	①地域住民	15,000	6,000	9,000	10,000	5,000	0
	②30人						
	③300円						
介護予防目的の園芸講座グループへの栄養講座	①地域住民	6,000	3,000	3,000	0	6,000	0
	②10名×3回						
	③100円						
冷え対策講座	①地域住民	40,000	40,000	0	40,000	0	0
	②20人×4回						
	③0						
メンズ厨房	①男性	25,000	17,500	7,500	20,000	5,000	0
	②15人						
	③500円						
口腔講座	①地域住民	0	0	0	0	0	0
	②毎回4名まで						
	③0						
干し野菜と時短調理講座	①地域住民	16,000	8,800	7,200	12,000	4,000	0
	②12人×2回						
	③300円						
お笑い認知症予防高座	①地域住民	27,000	27,000	0	27,000	0	0
	②60人×3回						
	③無料						
姿勢改善・コグニサイズ	①地域住民	480,000	0	480,000	480,000	0	0
	②20人/回						
	③500円						
医療講座 終末期をどう迎えるか	①地域住民	25,000	25,000	0	25,000	0	0
	②50人						
	③無料						
医療講座 腰痛のない体を作るために	地域住民	0	0	0	0	0	0
	50人						
	無料						
		1,018,000	151,300	866,700	998,000	20,000	0

事業ごとに別紙に記載してください。

平成29年度 自主事業収支計画書

事業名	①募集対象	自主事業予算額					
	②募集人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	その他
介護者のつどい	①地域の介護者	60,000	60,000	0	51,000	9,000	0
	②15名						
	③0						
笑風の会	①若年認知症の本人と家族	12,000	12,000	0	0	12,000	0
	②20名						
	③0						
介護施設の選び方	①地域住民	3,000	3,000	0	0	3,000	0
	②30名						
	③0						
遺言の書き方と相続の話	①地域住民	3,000	3,000	0	0	3,000	0
	②30名						
	③0						
エンディングノートの書き方講座	①地域住民	11,000	11,000	0	10,000	1,000	0
	②40名						
	③0						
いざという時に慌てない 葬儀の基礎知識	①地域住民	1,000	1,000	0	0	1,000	0
	②毎回6名まで						
	③0						
行政書士による出張相談所	①地域住民	1,000	1,000	0	0	1,000	0
	②毎回6名まで						
	③0						
虐待出張研修	①サービス事業所	1,000	1,000	0	0	1,000	0
	②毎回10名程度						
	③0						
認知症の理解と援助	①地域住民	40,000	0	0	30,000	10,000	0
	②70名						
	③0						
認知症の人の家族気持ちを 考える講座	①地域住民	25,000	0	0	20,000	5,000	0
	②20名						
	③0						
みんなで大勉強会	①CM、民生等	30,000	0	0	20,000	10,000	0
	②50名						
	③0						
毎月みんなで勉強会	①CM	60,000	0	0	50,000	10,000	0
	②各15名×10回						
	③0						
		247,000	92,000	0	181,000	66,000	0

事業ごとに別紙に記載してください。

平成29年度 自主事業収支計画書

事業名	①募集対象	自主事業予算額					
	②募集人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	その他
新人ケアマネ研修	①3年未満のケアマネ	1,500	1,500	0	0	1,500	0
	②20名						
	③0						
上郷地区センター祭り	①地域住民	1,500	0	0	0	1,500	0
	②お祭り参加者						
	③0						
民生委員さんとの個人面談会	①エリアの民生委員	5,000	0	0	0	5,000	0
	②21名						
	③0						
庄戸出張相談	①地域住民	10,000	0	0	10,000	0	0
	②毎回3名						
	③0						
上郷西地区ボランティアとケアマネジャーの集い	①ボランティア等	20,000		0	15,000	5,000	0
	②20名						
	③0						
認知症予防 のしちりスリーA「なずなの会」 (後方支援)	地域の方	6000	6000	0	0	5000	1000
	随時						
	無料						
栄区 若年認知症の人と その家族を支える会 6館共催	若年認知症と家族	6000	6000	0	0	5000	1000
	10組程度						
	参加費あり						
広報誌 「ケアプラザNEWS」発行	地域一般	140000	140000	0	0	30000	110000
	年間10回発行						
	無料						
野七里ケアプラザ文化祭	地域の方	80000	80000	0	0	80000	0
元気に楽しく手作り味噌を作ろう (包括・地域交流共催)	地域の方	24000	14000	10000	1000	22000	1000
	20名						
	500円						
小学生の趣味の講座	地域の小学生	11682	8682	3000	6682	4000	1000
	10名						
	300円						
障がい児余暇支援事業 のこのこ 3館共催	障がいのある小学生	43137	39137	4000	11137	30000	2000
	8名程度						
	500円						
		348,819	295,319	17000	43,819	189,000	116000

事業ごとに別紙に記載してください。

平成29年度 自主事業収支計画書

事業名	①募集対象	自主事業予算額					
	②募集人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	その他
上郷東地域見守りネットワーク (後方支援)	事務局として	15000	15000	0	0	0	15000
上郷東地区サロン見守り交流会 (上郷東社協共催)	地区のサロン実務者	1000	1000	0	0	0	1000
	30名程度 無料						
地域防災拠点訓練	拠点訓練参加者	5000	5000	0	0	0	5000
野七里助っ人隊 後方支援		1000	1000	0	0	0	1000
よこはまシニアポイント 登録研修会	65歳以上の市民	2000	2000	0	0	0	2000
	30名 無料						
認知症サポーター養成講座	地域の方等	12137	12137	0	11137	0	1000
	各40名程度 無料						
わんわんパトロール養成講座	地域の方	21137	21137	0	11137	5000	5000
	20名 無料						
ボランティア研修・交流会	地域の方	51137	51137	0	11137	30000	10000
	40名 無料						
栄高校福祉教育	依頼に応じて	0	0	0	0	0	0
パソコンで作ろう チラシ・年賀状	地域の方	7000	7000	0	0	0	7000
	各15名 無料						
健康マージャン大会 (後方支援)	地域の方	9000	9000	8000	0	7000	2000
	40名程度 無料						
のらくらくポールウォーキング (上郷地区センター・翠風荘共催) (4回)	地域の方	22000	18000	4000	20000	1000	1000
	20名 200円						
		146,411	142,411	12000	53,411	43,000	50000

事業ごとに別紙に記載してください。

平成29年度 自主事業計画書

横浜市野七里地域ケアプラザ

事業名	目的・内容	実施時期・回数
イージー体操	<p>目的：地域の高齢者が自己の運動機能の維持向上を図る事を目的に週1回のペースで年間実施する。参加者同士の交流を深める事で、閉じこもり予防にも繋げ、ケアプラザとの関わりを持ってもらう。</p> <p>内容：運動講師の指導で、体に痛みや不自由があっても無理無く出来る体操を行う。季節毎のイベントを企画し、参加者同士の親睦も深め、通う事の楽しみとしてもらう。</p>	<p>毎週火曜日 15：00～16：00</p> <p>計48回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
3A なずなの会	<p>目的：認知症予防スリーAを実践する会。新規リーダーの発掘と新たなボランティアの育成を行う。</p> <p>内容：参加者がリーダーの掛け声に合わせて全員一緒にパフォーマンスを行う。あかるく、頭を使って、諦めないをモットーに難しすぎない内容で、達成感を味わってもらう。</p>	<p>毎月第2・4木曜日 13：00～14：30</p> <p>計24回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ぎゅっと詰まった はちみつの良い話	<p>目的：普段なにげなく使っている蜂蜜の栄養価や効能、味の違い、蜜蜂がどの様にして蜜を作っているかを知る事で、その奥深さを知り、自身の健康に役立ててもらう。</p> <p>内容：2回講座で行う。1回目は、体内に取り入れる蜂蜜をテーマに、体がどう反応するか、蜂蜜の栄養価について深く学び、味の違いを体験する。2回目は、蜂蜜を使った化粧水を作る。食用以外での利用法と効能を学ぶ。</p>	<p>5月22日・29日 13：00～15：00</p> <p>計2回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
介護予防目的の園芸講座グループへの 栄養講座	<p>目的：介護予防目的で立ち上げ、その後自主化した。会員が地域の人達に声かけし、一緒に園芸に参加してもらう事で活動の場を広げる機会とする。</p> <p>内容：季節毎にケアプラ敷地内で野菜を栽培し、収穫後に調理実習を行う。毎回日程、メニュー、買物、参加者をケアプラの担当と打ち合わせをしながら行う。</p>	<p>6月・8月・12月</p> <p>計3回</p>

平成29年度 自主事業計画書

横浜市野七里地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
介護施設の選び方	目的:現在介護をしている方や、高齢になって施設入所を検討している方、またはそのご家族に対して介護施設の種類や入居の手続きについて情報提供する。 内容:介護施設の紹介から入居手続きまでを支援している企業に講師を依頼し、入所施設の選び方や入所手続きについての講演会を行う。	9/13 計1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
遺言の書き方と相続の話	目的:遺言や相続、成年後見について基礎知識を学び、地域の方々が高齢になっても安心して生活できるきっかけを作る事を目的とする。 内容:法律の専門家に講師を依頼し、遺言、相続、成年後見について講演を行う。また、必要に応じて、講演の後に個別相談会を設ける。	9/27 計1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
エンディングノートの書き方講座	目的:エンディングノートをきっかけとした終活講座。 内容:終活セミナーを行っている講師に依頼し、終活に必要な知識やエンディングノートを作成するポイントなどの講演を行う。栄区版シニアライフノートを配布する。	6/15 計1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
いざという時に慌てない葬儀とお墓のお話	目的:地域の方々が自分らしい「終活」を行う一つのきっかけ作り。いざとなった時に家族があわてないように元気な内から葬儀の知識を得ておくことを目的とする。 内容:地域の葬儀社に講師を依頼し、葬儀とお墓の基礎知識と今から備えておけることについて講演会を開催する。	7/5 計1回

平成29年度 自主事業計画書

横浜市野七里地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
行政書士による出張相談所	<p>目的:身近な法律の専門家が成年後見制度や、遺言の書き方、相続手続き等の相談に応じる権利擁護目的の個別相談。</p> <p>内容:地域の行政書士の協力のもと、毎月1回定期的に開催する。1回の相談につき30分程度を目処年、地域包括支援センター職員と共に無料で相談に応じ、必要に応じてその後も継続的に支援していく。</p>	<p>毎月第3土曜日 午後</p> <p>計12回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
虐待について研修会	<p>目的:虐待の早期発見の為に、在宅介護サービスを行う事業者に対して研修会を行う。</p> <p>内容:栄区包括社会福祉士の6館共催事業として、区内の在宅サービス提供事業者に対し、虐待発見のポイントや通報の仕方についての研修会を開催する。</p>	<p>申込み入り次第 随時</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
杉山 孝博先生の認知症の理解と援助	<p>目的:地域住民向けに認知症を理解して頂き認知症の人とその家族が生活しやすい地域作りのきっかけとする。</p> <p>内容:栄区医師会との区民向け共催事業。川崎幸クリニック院長・杉山孝博先生を招いた認知症についての区民向け講座。</p>	<p>1月29日(月) 1回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
野七里ケアプラザみんなで勉強会	<p>目的:野七里エリアのインフォーマル、フォーマルサービスの関係者が集い顔の見える関係を構築しながら共通の内容を学ぶ事により連携をスムーズに行う事が出来る。</p> <p>内容:毎年恒例の勉強会。今年度は整形外科の医師を招いて、事前にグループワークを行ってから質問する形式をとり情報交換、情報共有も行う。</p>	<p>8月予定 (1回)</p>

平成29年度 自主事業計画書

横浜市野七里地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
野七里地域ケアプラザみんなで勉強会	<p>目的：事業所の枠を越えて様々な経験年数のケアマネジャーが集い学ぶ事によって、横の連携の強化やスキルアップを図り地域に還元する。</p> <p>内容：野七里エリアを担当するケアマネジャーを主に対象とし概ね月1回のペースで集い様々な事を学び情報交換もして行く。</p>	概ね月1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
認知症の人とその家族の気持ちを考える講座	<p>目的：昨年度、地域ケア会議の課題にも挙げた地域での見守り強化の為、認知症の人とその家族の気持ちや考えを理解し地域住民が認知症の知識を正しく持ち、繋がる事を目的とする。</p> <p>内容：1月に開催される杉山医師の講座と連動し、より深く学ぶため実際の介護者による介護体験の話しと、認知症の人と家族の会の方を講師に迎え関わりのポイント等をグループワークを交え行う。</p>	2月予定 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
新人ケアマネジャー研修 (栄区6包括支援センター共催)	<p>目的：栄区内に勤務する概ね3年以内のケアマネジャー、もしくは就労予定のケアマネジャーを対象に多職種との連携がスムーズに行くよう学び、参加者の横の繋がりが出来自分のネットワークが広がるよう支援する。</p> <p>内容：具体的な医療との連携方法や多職種連携を学べるよう、医療従事者やインフォーマルサービス関係者などの講義を受け、グループワーク等行う。</p>	7月、11月予定 (各1回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
上郷地区センター祭り	<p>目的：上郷地区センター祭りに集う地域住民の方に向けたケアプラザの周知と、介護予防の啓発。</p> <p>内容：上郷地区センター祭りに於いて、ケアプラザのブースを設けさせていただきケアプラザの紹介と介護予防啓発のためパネルの展示、健康チェック等を行う。</p>	9月 (1回)

平成29年度 自主事業計画書

横浜市野七里地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
上郷西地区 ボランティアとケア マネジャーの集 い	目的：上郷西地区サロン関係者とケアマネジャーとの情報交換の場を設け密な連携が図り在宅で長く高齢者が生活出来るようお互いの役割を理解しスムーズな連携が図れるよう顔合わせの機会を設ける。 内容：昨年度のアンケート結果により、「次年度も認知症の人と家族の会の方にお話しを聞きたい」という声が多かったので、講師の話とグループワークを行う。	1月（1回）

民生委員さんとの 個人面談会	目的：野七里エリアを担当している民生委員の、担当地域について情報収集、情報交換と包括支援センターの役割についての再確認。 内容：各エリア担当の民生委員との個別ヒアリングを1人につき30分程度行い地域資源の確認やニーズの把握、包括支援センターについての説明を行う。	6月～随時
-------------------	--	-------

庄戸出張相談	目的：主に庄戸エリアにお住まいの方を中心に、なかなかケアプラザまで足を運ぶ事が出来ない方も気軽に相談に来られる場所作りと、ケアプラザの周知の為。 内容：月1回第2月曜日に庄戸コミュニティハウス図書室をお借りし、よろず相談窓口を設ける。年に数回、講座等を同日に開催し相談窓口とケアプラザの周知を行う。	毎月1回 (第2月曜日)
--------	--	-----------------

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ママの講座	子育て中のお母さん達の地域参加のきっかけづくりと譲歩交換の場の提供を目的とする。地域の講師を招いて、料理・裁縫の講座を開催する。参加者が自主的に企画などを考えていくよう支援し、地域の担い手育成につなげていく。	4月・10月・2月 年3回実施

平成29年度 自主事業計画書

横浜市野七里地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
上郷東地域見守りネットワーク (後方支援)	上郷東地区地域福祉保健計画の推進のため、上郷東地域見守りネットワーク事務局として、後方支援を行う。	通年

事業名	目的・内容	実施時期・回数
上郷東地区サロン見守り交流会 (生活支援コーディネーター、上郷東地域見守りネットワーク共催)	上郷東地区で開催しているサロンの運営スタッフへの勉強会と情報交換の場を作り、活動に活かしてもらうよう支援していく。	6月・2月 2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
地域防災拠点訓練	災害時の要援護者支援、地域防災拠点との連携を目的に、地域防災拠点の定例会参加、訓練にて、介助の仕方、車椅子の操作、また認知症や障害者の理解啓発の講習を行う。庄戸小学校、旧庄戸中学校、旧野七里小学校防災拠点を支援。	定例会月1回 訓練年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
野七里助っ人隊後方支援 (生活支援コーディネーター、地域交流共催)	ケアプラザの自主事業から立ち上がったボランティア団体の活動が円滑に地域の資源として維持発展するために支援していく。ケアプラザが受付窓口になり、助っ人隊へ依頼をつなぐ役割。	依頼受け付けは随時・定例会毎月1回

平成29年度 自主事業計画書

横浜市野七里地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
よこはまシニアボランティアポイント	よこはまシニアボランティアポイントの啓発と、この制度を使ったボランティア活動に結びつけることを目的に、栄区6館のケアプラザが持ち回りで、1回ずつ行う。	3月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
認知症サポーター養成講座	地域に認知症のことを正しく理解してもらうことで、認知症になっても、普通に暮らしていけるよう、周囲でできること、本人ができることを考えてもらい、認知症になっても地域で安心して暮らしていけるよう、さまざまな団体や、方々に講座を行っていく。	9月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
わんわんパトロール養成講座	ケアプラザで呼びかけて結成したわんわんパトロール隊を支援し、また、新たな隊員を募集し、育成する。警察や獣医などを講師に講座を行い、同時に活動している方の情報交換会を行う。	10月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ボランティア研修・交流会	ケアプラザで活動する、ボランティア同士の活動紹介、情報交換及び福祉の啓発を目的に、研修と交流会を開催する。	3月 1回

平成29年度 自主事業計画書

横浜市野七里地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
栄高校福祉教育	地域の学校への福祉教育、地域と学生とのつながりづくりを目的に、県立横浜栄高校の要請に応じて実施。区社協、地区社協と協働して福祉教育事業を行う。	10～12月 4回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
パソコンで作ろう（「パソコンサークルAB」後方支援）	高齢者にも必要となってくる、パソコン技術の習得や地域のかたの交流の場や、生きがいづくりを目的に、ケアプラザのパソコンサークルの方達が講師になって、パソコンの初心者向けの講座を開催する。	2回 6月・11月

事業名	目的・内容	実施時期・回数
健康マージャン大会（「いいじゃん会栄」後方支援）	高齢者の生きがいづくり、特に男性の引きこもり防止、認知症予防を目的に、登録団体「いいじゃん会」が主催で「賭けない飲まない吸わない」を標語に、健康マージャン大会を開催。お菓子、お茶を飲みながら、マージャンを楽しむ会を開催する。	9月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
春のらくらくポールウォーキング（上郷地区センター、翠風荘共催）	地域の方の健康づくり、ポールウォーキングでの介護予防。仲間づくり、自主的な活動に繋げていく。講師を招いての4回講座で、基本をしっかりと学んでもらう。その後は、受講者中心のお散歩会を開催するなどして、自主的活動につなげる。	5月 4回

平成29年度 自主事業計画書

横浜市野七里地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
歌声喫茶IN野七里	高齢の方を中心に閉じこもり防止、仲間づくりの場、楽しみの場の提供を目的とし、講師によるアコーディオンの伴奏で唱歌や歌謡曲をみんなで歌う会。参加者の中からケアプラザの事業から自主団体となった「うたともひろば」につなげる。	6月9月 2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
歌声喫茶IN庄戸 (庄戸コミュニティーハウス共催)	高齢者の生きがいづくり、仲間づくり、引きこもり予防のための事業「歌声喫茶」を、だれでも身近で参加しやすいよう地域の中で行う。坂の多い地域では、当ケアプラザから離れていて、ケアプラザに来るのが難しい方も多いため、庄戸コミュニティーハウスと共催で、事業を行う。	4月、3月 2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
趣味の講座	高齢者の方を中心に、閉じこもり防止、仲間づくり、引きこもり予防を目的とする。手工芸の得意な地域の方を講師に、高齢者向けに手工芸の講座を開催。	6月 2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
のしちりほっこりカフェ	高齢者の方を中心に、閉じこもり防止、仲間づくりの場、集いの場づくり、ボランティア育成を目的とする。地域の方を対象に誰でも来られるカフェをボランティアを中心に開催する。	5回 5, 7, 9, 12, 3月

平成29年度 自主事業計画書

横浜市野七里地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ほのぼのコンサート	多世代交流、地域の様々な団体の交流、楽しみの場の提供を目的とする。近隣保育園、障害者施設や、地域で活躍している音楽ボランティア団体などの協力によるコンサートの開催。	2回 6月、1月

事業名	目的・内容	実施時期・回数
げんきっこひろば	地域の子育て中の親子のための、子育て支援事業として、親子同士の交流、地域とのつながりづくりの場とする。未就学児の親子を対象に、子育て支援親子ひろばを開催する。地域のボランティアが見守りと、話し相手として参加。ひろばの中で、ボランティアと一緒に、食事会や親子体操などイベントを企画して行う。	通年 毎週金曜日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
小学生の保育士体験（上郷保育園共催事業）	小さな子の面倒をみることによって、地域の子どもの心の育成となることを目的とする。上郷保育園、ふぁみりーさぽーとのあ保育園と共催で、近隣小学校の子ども達に募集をかけ、保育園児との交流を夏休み期間に行う。	7月 2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
夏の夕べに親子でバドミントン	夏休み期間に、親子で身体を動かす時間と場を共有し、日頃不足しがちな親子のコミュニケーションの機会となることを目的とする。地域のバドミントン講師の下に、親子でバドミンントンの指導を受け、最後に親子チームでの対決を行う。	8月 4回

平成29年度 自主事業計画書

横浜市野七里地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
小学生の趣味講座	地域の方を講師に、小学生向けの手工芸講座を開催。子ども達に作ることを通して、手作りの楽しさを知ってもらうと共に、地域とのつながりづくりのきっかけとする。	6月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
障害児余暇支援事業「のこのこ」 (中野ケアプラザ、小菅ヶ谷ケアプラザ、サポートセンター共催)	発達障害を持つ子を対象に、地域のつながりづくりと、地域の方々に障害者の理解のきっかけとなることを目的に行う。小菅ヶ谷ケアプラザ、中野ケアプラザ、サポートセンターと共催で、小学校高学年から中学生の発達障害などの障害を持つお子さんを対象に、食事づくりや音楽レクを行う。29年度は中野を会場に行う。	8月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
広報誌「ケアプラザニュース」	情報を地域に発信する。9月、1月以外の毎月発行し、上郷東・西地区に回覧、近隣施設に配架。その他、地域活動者やボランティアに郵送。	3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 1 2, 2, 3月 10回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
野七里ケアプラザ文化祭	地域に貸室利用団体の活動を紹介すると共に団体同士や地域との交流のための文化祭を開催。作品展示、楽器演奏、発表など、地域に開かれた文化祭を開催する。	5月 1回

平成29年度 自主事業計画書

横浜市野七里地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
元気に楽しく手作り味噌を作ろう (包括・地域交流共催)	高齢者の食に対する楽しみを感じてもらい、健康づくりにつなげる。麴屋の講師を招いて、味噌作りを行い、味噌と健康についての講座を行う。	4月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数